

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-515501(P2000-515501A)

【公表日】平成12年11月21日(2000.11.21)

【出願番号】特願平10-504435

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 413/12

A 6 1 K 31/4725

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/10

C 0 7 D 413/14

C 0 7 D 417/12

【F I】

C 0 7 D 413/12

A 6 1 K 31/4725

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/10

C 0 7 D 413/14

C 0 7 D 417/12

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月28日(2004.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 6月28日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第504435号

2. 補正をする者

氏名(名称) イーライ・リリー・アンド・カンパニー

3. 代理人

住所

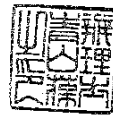
〒540-0001

大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所

電話 06-6949-1261 F A X 06-6949-0361

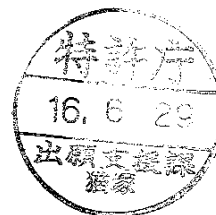
氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

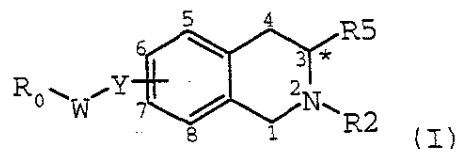
5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙のとおり。

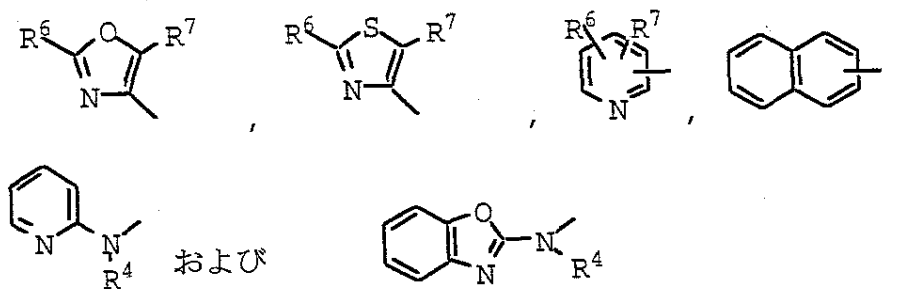
(別紙)

請求の範囲

1. 式I:



[式中:]

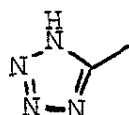
 R^0 は

からなる群から選択され;

R^2 は水素、 C_{1-4} アシル、 C_{1-4} アルキルオキシカルボニル、 C_{1-4} アルキルアミノカルボニル、アリールカルボニル、アリールオキシカルボニル、アリールオキシ C_{1-4} アルキルカルボニル、アリールアミノカルボニル、アリール C_{1-4} アシル、アリール C_{1-4} アルキルオキシカルボニル、アリール C_{1-4} アルキルアミノカルボニル、アリール C_{1-4} アルキルスルホニルまたはアミノ保護基であり;

R^4 は水素または C_{1-4} アルキルであり;

R^5 は $-\text{COOH}$ 、 $-\text{CONR}^{10}\text{R}^{11}$ 、 $-\text{CN}$ 、 $-\text{CONHOH}$ または



であり；

R^6 は水素、 C_{1-4} アルキル、アリールまたはアリール C_{1-4} アルキルであり；

R^7 は水素、ハロゲンまたは C_{1-4} アルキルであり；

R^9 は水素、 C_{1-4} アルキルまたはアリールであり；

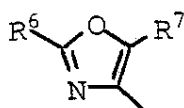
R^{10} および R^{11} は独立して水素、 C_{1-4} アルキルまたはアリールであり；

Wは $-(CH_2)_n-$ であり；

Yは1, 2, 3, 4-テトラヒドロイソキノリン部分の第6位または第7位に結合し、 $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-SO-$ 、 $-SO_2-$ 、 $-NH-$ 、 $-CONR^9-$ 、 $-NR^9-SO_2-$ または $-SO_2-NR^9-$ であり；ならびに
nは1～4である]

で示される1, 2, 3, 4-テトラヒドロイソキノリン化合物または製薬的に許容されるその塩。

2. R^0 が



であり；

R^2 がアリールカルボニル、アリールオキシカルボニル、アリール C_{1-4} アルキルオキシカルボニル、アリール C_{1-4} アルキルスルホニルまたはアミノ保護基であり；

R^4 が水素またはメチルであり；

R^5 が $-COOH$ であり；

R^6 がアリールであり；

R^7 が水素、ハロゲンまたはメチルであり；

R^9 および R^{10} が水素であり；

Yが $-O-$ であり；ならびに

nが1または2である；

請求項1に記載の化合物または製薬的に許容されるその塩。

3. 1つまたはそれ以上の製薬的に許容される賦形剤とともに、請求項1に記載の式(I)の化合物を活性成分として含む抗高血糖用の医薬製剤。